USB CD-RWドライブ

CRW-32U2

ユーザーズマニュアル

本書の使いかた

本書を正しくご活用いただくための表記上の約束ごとを説明します。

表記上の約束

注意マーク .... ⚠注意 に続く説明文は、製品の取り扱いにあたって特に注意すべき事項です。この注意事項に従わなかった場合、身体や製品に損傷を与える恐れがあります。

次の動作マーク .... 次へ に続くページは、次にどこのページへ進めば良いかを記しています。

文中の用語表記

- 文中[ ]で囲んだ名称は、ダイアログボックスの名称や操作の際に選択するメニュー、ボタン、チェックボックスなどの名称を表しています。
- CD-ROM、音楽CD、CD-RW／CD-Rメディアを合わせて「CD」と表記しています。
- 本書では、Microsoft社Windows Millennium EditionをWindowsMeと表記しています。
- 本書では、Microsoft社Windows98 Second EditionをWindows98SEと表記しています。
- 付属のWinCDRユーザーガイド(*)には、CD-RWに関しての用語集が記載されています。本書に意味が分からない用語があったときは、WinCDRユーザーガイド(*)の用語集を参考にしてください。
  * 印刷物ではなくオンラインマニュアル(PDFファイル)として提供されます。WinCDRインストール時にスタートメニューに登録されます。

著作権について

著作権者の許諾なしにCD-ROMや音楽CDを複製することは法律により禁じられています。本製品を使用しての複製の際は、オリジナルCDの使用許諾条件に関する注意事項に従ってください。

■ 本書に記載された仕様、デザイン、その他の内容については、改良のため予告なしに変更される場合があり、現に購入された製品とは一部異なることがあります。

■ 本書の内容に関しては万全を期して作成していますが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどがありましたら、お買い求めになった販売店または弊社インフォメーションセンターまでご連絡ください。

■ 本製品は一般的なオフィスや家庭のOA機器としてお使いください。万一、一般OA機器以外として使用されたことにより損害が発生した場合、弊社はいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

・医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。

・一般OA機器よりも高い信頼性が要求される機器や電算機システムなどの用途に使用するときはご使用になるシステムの安全設計や故障に対する適切な処置を万全におこなってください。

■ 本製品は、日本国内でのみ使用されることを前提に設計、製造されています。日本国外では使用しないでください。また、弊社は、本製品に関して日本国外での保守または技術サポートを行っておりません。

■ 本製品のうち、外国為替および外国貿易法の規定により戦略物資等（または役務）に該当するものについては、日本国外への輸出に際して、日本国政府の輸出許可（または役務取引許可）が必要です。

■ 本製品の使用に際しては、本書に記載した使用方法に沿ってご使用ください。特に、注意事項として記載された取扱方法に違反する使用はお止めください。

■ 弊社は、製品の故障に関して一定の条件下で修理を保証しますが、記憶されたデータが消失・破損した場合については、保証しておりません。本製品がハードディスク等の記憶装置の場合または記憶装置に接続して使用するものである場合は、本書に記載された注意事項を遵守してください。また、必要なデータはバックアップを作成してください。お客様が、本書の注意事項に違反し、またはバックアップの作成を怠ったために、データを消失・破棄に伴う損害が発生した場合であっても、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ 本製品に起因する債務不履行または不法行為に基づく損害賠償責任は、弊社に故意または重大な過失があった場合を除き、本製品の購入代金と同額を上限と致します。

■ 本製品に隠れた瑕疵があった場合、無償にて当該瑕疵を修補し、または瑕疵のない同一製品または同等品に交換致しますが、当該瑕疵に基づく損害賠償の責に任じません。

安全にお使いいただくために必ずお守りください

お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本製品を安全にお使いいただくために守っていただきたい事項を記載しました。
正しく使用するために、必ずお読みになり内容をよく理解された上で、お使いください。なお、本書には弊社製品だけでなく、弊社製品を組み込んだパソコンシステム運用全般に関する注意事項も記載されています。
パソコンの故障／トラブルや、いかなるデータの消失・破損または、取り扱いを誤ったために生じた本製品の故障／トラブルは、弊社の保証対象には含まれません。あらかじめご了承ください。

■使用している表示と絵記号の意味

警告表示の意味

⚠ 警告	絶対に行ってはいけないことを記載しています。この表示の注意事項を守らないと、使用者が死亡または、重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示の注意事項を守らないと、使用者がけがをしたり、物的損害の発生が考えられる内容を示しています。

絵記号の意味

△	△は、警告・注意を促す記号です。△の近くに具体的な警告内容（例：⚠感電注意)が描かれています。
⃠	○に斜線は、してはいけない事項（禁止事項）を示す記号です。 ○の中や近くに、具体的な禁止事項が描かれています。（例：分解禁止）
●	●は、しなければならない行為を示す記号です。 ●の近くに、具体的な指示内容（例：プラグをコンセントから抜く）が描かれています。

⚠ 警告

強 制

本製品を取り付け、使用する際は、必ずパソコンメーカおよび周辺機器メーカが提示する警告や注意指示に従ってください。

分解禁止

本製品の分解・改造・修理を自分でしないでください。

火災・感電・故障の恐れがあります。また本製品のシールやカバーを取り外した場合、修理をお断りすることがあります。

禁 止

AC100V(50/60Hz)以外のコンセントには、絶対に電源プラグを差し込まないでください。

海外などで異なる電圧で使用すると、ショートしたり、発煙、火災の恐れがあります。

強 制

電源プラグは、コンセントに完全に差し込んでください。

差し込みが不完全なまま使用すると、ショートや発熱の原因となり、火災や感電の恐れがあります。

禁止

電源ケーブルを傷つけたり、加工、加熱、修復しないでください。

火災になったり、感電する恐れがあり、本製品の故障の原因ともなります。

- 設置時に、電源ケーブルを壁やラック（棚）などの間にはさみ込んだりしなでください。
- 重いものをのせたり、引っ張ったりしないでください。
- 熱器具を近付けたり、加熱しないでください。
- 電源ケーブルを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
- 極端に折り曲げないでください。
- 電源ケーブルを接続したまま、機器を移動しないでください。

万一、電源ケーブルが傷んだら、弊社インフォメーションセンターまたは、お買い上げの販売店にご相談ください。

強制

電気製品の内部やケーブル、コネクタ類に小さなお子様の手が届かないように機器を配置してください。

さわってけがをする危険があります。

強制

小さなお子様が電気製品を使用する場合には、本製品の取り扱い方法を理解した大人の監視、指導のもとで行うようにしてください。

強制

濡れた手で本製品に触れないでください。

電源ケーブルがコンセントに接続されているときは、感電の原因となります。また、コンセントに接続されていなくても、本製品の故障の原因となります。

電源プラグを抜く

煙が出たり変な臭いや音がしたら、すぐにコンセントから電源プラグを抜いてください。

そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。
弊社インフォメーションセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

水場での使用禁止

風呂場など、水分や湿気が多い場所では、本製品を使用しないでください。

火災になったり、感電や故障する恐れがあります。

電源プラグを抜く

本製品を落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。与えてしまった場合はすぐにコンセントから電源プラグを抜いてください。

そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社インフォメーションセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

電源プラグを抜く

本製品に液体をかけたり、異物を内部に入れたりしないでください。液体や異物が内部に入ってしまったら、すぐにコンセントから電源プラグを抜いてください。

そのまま使用を続けると、ショートして火災になったり、感電する恐れがあります。弊社インフォメーションセンターまたは、お買い求めの販売店にご相談ください。

禁止

レーザー光線を直視しないでください。

トレーを開けて中をのぞいたり、本製品を分解しないでください。レーザー光線が目に入ると視覚に障害を及ぼす恐れがあります。

強制

静電気による破損を防ぐため、本製品に触れる前に、身近な金属（ドアノブやアルミサッシなど）に手を触れて、身体の静電気を取り除いてください。

人体などからの静電気は、本製品を破損、またはデータを消失、破損させるおそれがあります。

⚠ 注意

強制

パソコンおよび周辺機器の取り扱いは、各機器のマニュアルをよく読んで、各メーカの定める手順に従ってください。

禁止

次の場所には設置しないでください。感電、火災の原因となったり、製品やパソコンに悪影響を及ぼすことがあります。

- 強い磁界、静電気が発生するところ
- 温度、湿度がパソコンのマニュアルが定めた使用環境を超える、または結露するところ
- ほこりの多いところ
  →故障の原因となります。
- 振動が発生するところ
  →けが、故障、破損の原因となります。
- 平らでないところ
  →転倒したり、落下して、けがや故障の原因となります。
- 直射日光が当たるところ
- 火気の周辺、または熱気のこもるところ
  →故障や変形の原因となります。
- 漏電、漏水の危険があるところ
  →故障や感電の原因となります。

強制

本製品の取り付け、取り外しや、ソフトウェアをインストールするときなど、お使いのパソコン環境を少しでも変更するときは、変更前に必ずパソコン内（ハードディスク等）のすべてのデータをMOディスク、フロッピーディスク等にバックアップしてください。

誤った使い方をしたり、故障などが発生してデータが消失、破損したときなど、バックアップがあれば被害を最小限に抑えることができます。

バックアップの作成を怠ったために、データを消失、破損した場合、弊社はその責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

強制

各接続コネクタのチリやほこり等は、取りのぞいてください。また、各接続コネクタには手を触れないでください。

故障の原因となります。

禁止

本製品の上に物を置かないでください。

傷がついたり、故障の原因となります。

注意

CD-ROM、音楽CD、CD-Rメディア、CD-RWメディア（以後CDと表記）は次の点に注意して大切にお使いください。

- 直射日光を当てないでください。
- シンナーやベンジン等の有機溶剤を使ってお手入れをしないでください。
  汚れは、少量の水で湿らせた柔らかい布で拭き取ってください。必ず、中心から外側へ向って軽く拭き取ってください。
- 表面に傷を付けたり、テープを貼ったり、文字を書いたりしないでください。
- 高温、多湿になる場所や、ほこりの多い場所に置かないでください。
- 表面に手を触れないでください。
  両端を持つか、縁と中央の穴をはさむようにして持ってください。
- 持ち運ぶときは、必ずプラスチックケースに入れて大切に取り扱ってください。

ひびわれや変形、補修したCDは使用しないでください。

本製品内部で砕けて、けがや故障の恐れがあります。

CD-RWメディアおよびCD-Rメディアの反射層が剥離する原因となりますので、次のことは行わないでください。

・表面（レーベル面）に傷を付けないでください。
・メディア同士を重ねないでください。
・レーベル面にタイトルなどを書き込むときは、ボールペンなどの先の硬い筆記用具を使用しないでください。
・シールやラベルなどを貼らないでください。

本製品にCDを入れたまま移動させないでください。

本製品の動作中または、CDを本製品に入れた状態で移動しないでください。
CD、本製品に損傷を与える恐れがあります。移動する場合は、必ずCDを取り出し、電源スイッチをOFFにしてから行ってください。

通風口やファンをふさいだり、他の機器と密着させないでください。

故障の原因となります。

定期的にレンズのクリーニングを行ってください。

本製品内部のレンズ等に、ほこりやたばこの煙等が付着し、CDの再生が正常にできなくなったり、書き込みができなくなることがあります。市販のレンズクリーニングキットで、定期的にレンズのクリーニングを行ってください。

シンナーやベンジン等の有機溶剤で、本製品を拭かないでください。

本製品の汚れは、乾いたきれいな布で拭いてください。汚れがひどい場合は、きれいな布に中性洗剤を含ませ、かたくしぼってから拭き取ってください。

本製品へのアクセス中は、本製品からUSBケーブルや電源ケーブルを抜いたり、パソコンを再起動しないでください。

データが消失、破損する恐れがあります。

本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従ってください。

条例の内容については、各地方自治体にお問い合わせください。

目 次

1 はじめに

本製品の特長や、メディアへの書き込みに必要なパソコン環境など、事前に知っておいていただきたいことを説明しています。

特長

● CD-R/RWメディアに書き込み可能
本製品は、CD-RWメディアとCD-Rメディアにデータを書き込めます。転送速度は次のとおりです。
・CD-R書き込み時
最大4800KB/sec（最大32倍速）（*1）
・CD-RW書き込み時
最大1500KB/sec（最大10倍速）（*1、*2）
*1 お使いのパソコンのUSBの転送速度に依存します。
*2 CD-RWメディアに4倍速を超える速度で書き込みをするためには、High Speed対応のCD-RWメディアが必要です。

●USB2.0で規定されているHSモード（最大転送速度:480Mbps理論値）で本製品を使用するには、弊社製USB2.0インターフェース(またはUSB2.0に対応したパソコン本体)が必要です。

● PC連動AUTO電源機能を搭載
パソコン本体の電源ON/OFFに合わせて、本製品の電源も自動的にON/OFFします（手動でON/OFFすることもできます）。

● バッファアンダーランエラー（書き込みエラー）防止機能を搭載
CD-R/RWメディアへの書き込み中に他のアプリケーションで作業をしても、バッファアンダーランエラーが発生しません。【P8「バッファアンダーランエラー防止機能とは?」】

● USBコネクタ(シリーズA)に接続可能
パソコンのUSBコネクタ(シリーズA)に接続できます。

● MP3データファイルから、音楽CD（CD-DA）を作成できます。

● CDのバックアップが可能
CD-ROMドライブから直接バックアップするオンザフライバックアップと、本製品1台だけでも可能な方法（ハードディスクにCDのイメージを作成する方法）があります。

次のページへ続く

● 多彩なフォーマット形式をサポート
次の CD のフォーマット形式をサポートしています。　○：サポートする　－：サポートしない

CDの フォーマット形式	読み出し	書き込み		
		WinCDR	WinCDR Lite	PacketMan
音楽CD（CD-DA）	○(*1)	○	○	－
CD TEXT（*2）	○(*1)	○	○	－
CD-ROM（Mode1）	○	○	○	－
パケットライト	○	－	－	○
CD-ROM XA	○	○	○(*3)	－
Video CD	○(*4)	○(*5)	○(*3)	－
CD Extra	○(*1)	○	○(*3)	－
Mixed Mode CD	○(*1)	○	○(*3)	－

*1 Windows Media Player7 以降などのデジタル再生に対応したプレーヤーで再生してください。
*2 パソコンで再生する場合は、再生ソフトウェアがCD TEXTに対応している必要があります。（本製品付属の WinCDR の CD プレーヤーは、CD TEXT に対応しています。）
オーディオ機器で再生する場合は、オーディオ機器が CD TEXT に対応している必要があります。
*3 CD バックアップ機能にて書き込み可能です。
*4 読み出しには、再生ソフトウェアが別途必要です。
5 Video CD 形式ファイルへの変換にはVideo CDの規格に準拠したファイル形式（.MPGなど）でキャプチャしたデータが必要です。キャプチャには市販のキャプチャボードを使用してください。

バッファアンダーランエラー防止機能とは？

従来のCD-R/RWドライブでは、CD-R/RWメディアへの書き込み中に他のアプリケーションを起動したりすると、CD-R/RWドライブのバッファ（*）が瞬間的に空になってしまい、書き込みが中断されてしまう「バッファアンダーランエラー」と呼ばれる現象が発生していました。

*パソコンから送られてくるデータを一時的に保管しておく装置

この現象を防ぐために開発されたのが、「バッファアンダーランエラー防止機能」です。この技術を簡単に説明すると、次のようになります。

① CD-R/RWドライブ内のバッファに貯められているデータの量を監視する
② データが無くなりそうになったら、いったんCD-R/RWメディアへの書き込みを止める
③ 書き込みを中断した場所を記憶する
④ バッファにデータが溜まったら、③で記憶した位置から書き込みを再開する

* 書き込みを一時中断した時間分だけ書き込み時間が長くなります。

これにより、データが途切れてしまっても、続きのデータを継ぎ目なく書き込めるのです。

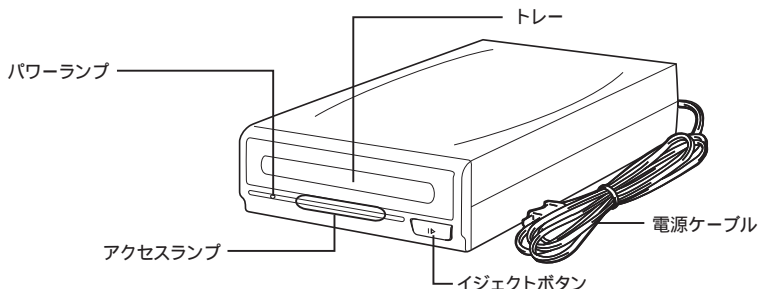
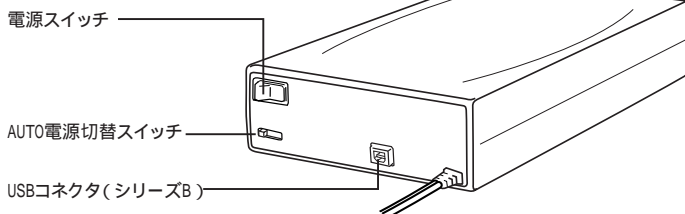
⚠注意 バッファアンダーランエラー防止機能は、次の状況では働きません。
・停電や電源切断
・パソコンやソフトウェアの故障／異常
・本製品に衝撃を与えた場合や、CD-R/RWメディアの異常
・記録する元データやドライブ（CD-ROMドライブなど）の異常

必要なパソコン環境

- CPU　Pentium166MHz以上(Pentium II 233MHz以上推奨)
- メモリ ... WindowsXP：128MB以上
  WindowsMe/98SE/98：64MB以上
  Windows2000：96MB以上
- OS WindowsXP/Me/2000/98SE/98
- グラフィック 解像度800×600ドット以上、High Color(16ビット)色以上
- ハードディスク空き容量
  WinCDRのインストール用に約10MB
  書き込み時の一時的な作業領域として約50〜800MB（*）
  * 書き込むデータの容量によって異なります。 ただし、オンザフライでの書き込み時には作業領域を使用しません。

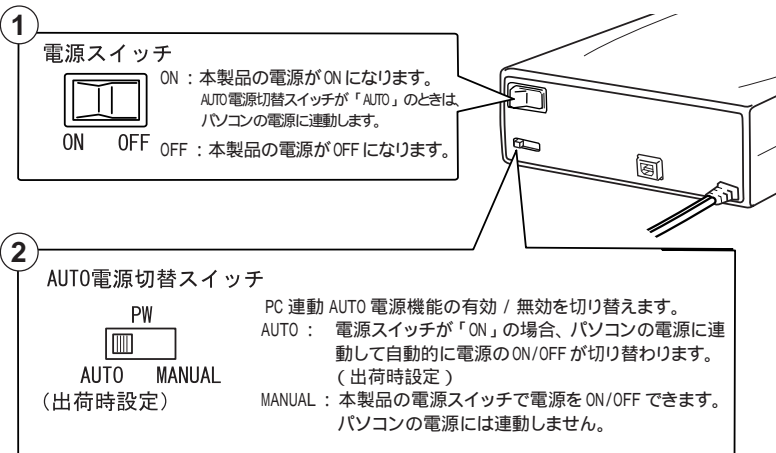
各部の名称

⚠注意 製品の形状はイラスト異なることがあります。

●前面

●背面

メモ 本製品は縦置きに設置することもできます。 詳しくは別紙「はじめにお読みください」を参照してください。

付属品の確認は別紙 「はじめにお読みください」 を参照してください。

電源の ON/OFF

本製品の電源は、「PC連動AUTO電源機能」によってパソコン本体の電源ON/OFFに合わせて自動でON/OFF することも、手動でON/OFF することもできます。
出荷時は、PC 連動 AUTO 電源機能は有効になっています。

⚠注意 「PC連動AUTO電源機能」 使用時の注意

パソコンによっては、パソコン本体の電源をOFFにしても本製品の電源がOFFにならないことがあります。この場合は、本製品のAUTO電源切替スイッチを「MANUAL」にして、本製品の電源スイッチを操作してON/OFF切り替えてください。

2 セットアップ

本製品をパソコンに取り付ける手順や本製品の使いかたについて説明しています。

セットアップ手順

本製品のセットアップ手順は次のとおりです。

こちらの枠で囲ってある手順は別紙「はじめにお読みください」を参照してください

周辺機器(本製品を含む)→パソコンの順に
電源スイッチをONにする

▼

付属のユーティリティCDを
CD-ROMドライブにセットする(*)

▼

「簡単セットアップ」が起動したら、画面の指示に従って
本製品をセットアップ(取り付け・USBドライバのインストール)する

▼

・WinCDRまたはPacketManをインストールする
・WinCDRまたはPacketManを起動する
【別冊「WinCDRクイックスタートガイド」または「PacketManクイックスタートガイド」参照】

* 本製品ではインストールできません。パソコンに標準搭載されているCD・DVDドライブに付属のCD-ROMをセットしてインストールしてください。CD・DVDドライブを搭載していないパソコンをお使いのときは、弊社ホームページ(http://www.melcoinc.co.jp/)より、「CRW-32U2ドライバディスク」をダウンロードしてください。

取り付けの前に

注意事項

● パソコンの電源スイッチをOFFにする前に、ハードディスク内の大切なデータを他のメディア（フロッピーディスク、MOディスクなど）に保存し、すべてのアプリケーションを終了してください。

● パソコンの電源スイッチをOFFにする前にアプリケーションをすべて終了し、ハードディスク内のデータを他のメディア（フロッピーディスクなど）にバックアップしてください。

● 本製品はパソコンのUSBコネクタに接続します。パソコン本体にUSBコネクタが装備されていないDOS/V機を使用している場合は、弊社製USBボードを使用してください。

● 1台のパソコンに、USB接続のCD・DVDドライブ（本製品を含む）を2台以上接続して使用することはできません。

● 本製品は、パソコン本体の省電力機能（サスペンド機能、スリープ機能など）には対応していません。パソコンの省電力機能は必ず無効に設定してください。

● パソコンおよび周辺機器の取り扱い上の注意や各種設定は、各マニュアルを参照してください。

● パソコン本体と周辺機器のマニュアルも必ず参照してください。

● パソコンおよび本製品は精密機器です。本書巻頭「安全にお使いいただくために必ずお守りください」および「使用時の注意」【P14】を必ず参照してください。

● USB2.0インターフェースを搭載していないWindowsXPパソコンをお使いの方へ
- ・USB1.1インターフェースで本製品(USB2.0機器)を接続した場合、「高速USBデバイスが高速でないUSBハブに接続されています。」と、警告メッセージが表示されます。USB2.0インターフェースを増設することで、メッセージは表示されなくなります。
- ・WindowsXPのCD-R/RW書き込み機能では、書き込み速度は最大4倍速となります。

● 本製品で書き込みをしているときは、USBケーブルに触れないでください。
書き込み中にUSBケーブルを抜き差しすると、正常に書き込めません。

● 本製品を使用するためには次の物が必要です。事前に用意してください。
- ・パソコン本体のマニュアル
- ・本製品および付属品

● USBハブを使用する場合は、弊社製UHB-S7/S4をお使いください。

CyberTrio-NX を搭載した NEC PC98-NX シリーズを使用しているとき

CyberTrio-NX(*)をアドバンストモード以外のモードで使用していると、本製品のドライバをインストールできないことがあります。ドライバをインストールする前に、必ずアドバンストモードに変更してください。変更方法はPC98-NXシリーズのマニュアルを参照してください。

*パソコンを使う人ごとにWindowsの動作範囲やアクセスできるフォルダを限定するユーティリティです。

現在のモードは、CyberTrio-NXのインジケータ の色で確認できます。

赤	アドバンストモード	設定を変更する必要はありません。
黄	ベーシックモード	アドバンストモードに設定を変更してください。
緑	キッズモード／カスタムモード	アドバンストモードに設定を変更してください。

セットアップ手順

付属のユーティリティ「簡単セットアップ」の指示に従って作業します。別紙「はじめにお読みください」を参照してセットアップしてください。

メモ　本製品のドライバがインストールされると、[デバイス マネージャ]（※1）に次のデバイスが追加されます。

使用OS	追加場所	追加デバイス名
WindowsXP/2000	DVD/CD-ROMドライブ	ユニットドライブ名
	USB (Universal Serial Bus) コントローラ	USB大容量記憶装置デバイス
WindowsMe	CD-ROM	ユニットドライブ名
	ユニバーサル シリアル バス コントローラ	USB大容量記憶装置デバイス（※2）
	記憶装置	USB CD-ROM
Windows98SE/98	CD-ROM	ユニットドライブ名
	ハード ディスク コントローラ	USB2-IDE Mass Storage Controller
	ユニバーサル シリアル バス コントローラ	MELCO USB2-IDE Bridge Adapter

※1 [デバイス マネージャ]は次の方法で表示できます。

WindowsMe/98SE/98: [マイ コンピュータ] アイコンを右クリック→ [プロパティ(R)]をクリック→ [デバイス マネージャ]をクリック

WindowsXP: [スタート]をクリック→ [マイ コンピュータ]を右クリック→ [管理(G)] → [デバイス マネージャ]をクリック

Windows2000: [マイ コンピュータ] アイコンを右クリック→ [管理(G)] → [デバイス マネージャ]をクリック

※2 緑色の丸に白字で「?」と表示されます。これは、Windows付属の汎用ドライバがインストールされたためです。本製品は正常に動作していますので、そのまま使用してください。

2

セットアップ

3 取り扱いかた

本製品の基本的な操作方法を説明します。

使用時の注意

● USBケーブルなどのコネクタ接続部を無理に引っぱったり、強い力を加えたりしないでください。破損の原因になります。

● メディアへの書き込み中やCDの再生中に本製品を動かしたり、振動の多いところで使用したりしないでください。

● 本製品を不安定な場所（平らでない場所、傾いた場所など）に設置しないでください。

● 本製品はホットプラグに対応しています。
本製品やパソコンの電源スイッチがONの時でもP15「本製品の取り外しかた」の手順でUSBケーブルを抜き差しできます。

⚠注意 本製品へのアクセス中は、絶対にUSBケーブルを抜かないでください。データが破損するおそれがあります。

● 本製品の上に物を置かないでください。

メディアの取り扱いに関する注意

メディアは繊細です。わずかな傷や汚れの付着によっても正常に書き込めなくなるおそれがあります。取り扱いには十分注意し、次の事項を必ず守ってください。

● 直射日光に長時間さらさないでください。

● 記録面に手を触れないでください。

● 記録面にゴミやほこりなどが付着しているときは、市販のダストクリーナーで除去してください。

● シールやラベルなどを貼らないでください。

● メディア同士を重ねないでください。

● レーベル面にタイトルなどを書き込むときは、ボールペンなど先の硬い筆記具は使用しないでください。

● メディアに傷を付けないでください。

CDのセット／取り出し

● CDをセットする
イジェクトボタンを押してトレーを出し、CDをセットします。
トレーは軽く押すと戻ります（再度イジェクトボタンを押すことでもトレーを戻すことができます）。

● CDを取り出す
イジェクトボタンを押してトレーを出し、CDを取り出します。
トレーを軽く押してトレーを戻します。
ライティングソフトウェアの操作でもトレーを出せます。

⚠注意 本製品へのアクセス中は、絶対にイジェクトボタンを押さないでください。CDや本製品が破損するおそれがあります。

メモ
・WinCDRが起動しているときは、イジェクトボタンを押してもトレーは排出されません。その場合は、WinCDRのツールバーにある［イジェクト］アイコンをクリックしてください。
・PacketManをインストールした環境で、パケットライト方式で書き込まれたメディアを本製品にセットすると、イジェクトボタンを押してもトレーは排出されません。デスクトップ画面の［マイ コンピュータ］内にあるCD-ROMドライブのアイコンを右クリックし、メニューから［取り出し］を選択してください。

本製品の取り外しかた

パソコンの電源スイッチがONのときは、次の手順で本製品を取り外します。

メモ パソコンの電源スイッチがOFFのときは、そのまま取り外せます。

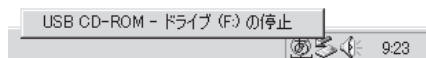
1 本製品からメディアを取り出します。

2 タスクバーのタスクトレイの次のアイコンをクリックします。

WindowsXP:　　WindowsMe/2000:　　Windows98SE/98:

3 表示されたメニューから次のメッセージをクリックします。

WindowsXP：[USB 大容量記憶装置デバイス-ドライブ(X:)を安全に取り外します]
WindowsMe：[USB CD-ROM-ドライブ(X:)の停止]
Windows2000：[USB 大容量記憶装置デバイス-ドライブ(X:)を停止します]
Windows98SE/98：[USB2-IDE Mass Storage Controllerの取り外し]

下線部には本製品に割り当てられたドライブ名が表示されます。

※画面はWindowsMeの例です。

4 本安全に取り外すことができるというメッセージが表示されたら、[OK]をクリックします(WindowsXPではを、クリックします)。

5 本製品を取り外します。

3
取り扱いかた

4 書き込みと読み出し

CD-R/RWメディアへの書き込みと読み出しについて説明しています。

書き込み

メディアにデータを書き込むときは、本製品付属のライティングソフトウェア「WinCDR」、「PacketMan」のいずれかを使用します。
詳しい使いかたは、WinCDRユーザーガイド(*)・別冊「PacketManクイックスタートガイド」を参照してください。
* 印刷物ではなくオンラインマニュアル(PDFファイル)として提供されています。WinCDRユーザーガイドは、WinCDRインストール時にスタートメニューに登録されます。

⚠注意 • 著作権者の許諾なしにCD-ROMや音楽CDを複製することは法律により禁じられています。本製品を使用して複製するときは、オリジナルCDの使用許諾条件に関する注意事項に従ってください。
• WinCDR、PacketManで書き込んだメディアには、他のライティングソフトウェアでは追記できません。

WinCDR、PacketManの操作方法や製品情報は、「株式会社アプリックス ユーザーサポート」までお問い合わせください。【「WinCDRクイックスタートガイド」参照】

本製品の操作方法や製品情報は、株式会社メルコ インフォメーションセンターまでお問い合わせください。【本書の裏表紙参照】

ライティングソフトウェアの特徴

● WinCDR

音楽CDやビデオCDの作成、CDやドライブのバックアップに最適なライティングソフトウェアです。

• Windows用のライティングソフトウェアです。 対応OSはWindowsXP/Me/2000/98SE/98です。
• ディスクアットワンスでの書き込みが可能なので、プレス用のマスターCDが作成できます。
• WinCDRで作成したメディアは、Macintoshでも読み出せます。
  ※ ただし、アプリケーションなど、ソフトウェア上互換性のないものを除きます。
  ※ ボリュームラベルとして使用できる文字は、0～9およびA～Z(大文字)です。

WinCDR Liteについて

WinCDRをインストールすると、WinCDR以外にWinCDR Liteのショートカットアイコンがデスクトップ画面に作成されます。WinCDR Liteはデータ CD・音楽CDの作成や、CDのバックアップができる簡易版のWinCDRです。

次のページへ続く

● PacketMan

CD-R/RWメディアに対して、フロッピー感覚でデータの読み出し／書き込みをするライティングソフトウェアです。

- Windows 用のライティングソフトウェアです。 対応 OS は WindowsXP/Me/2000/98SE/98 です。
- 小さなパケット単位で書き込むので、 バッファアンダーランが発生しません。
- 小さなファイルを記録する場合も、 ディスク容量が無駄になりません。
- ハードディスクなどにデータをコピーする感覚（マウスでのドラッグ&ドロップ操作）でデータを書き込めます。
- ファイルのアイコンをごみ箱へドラッグ&ドロップすれば、 ファイルを削除できます。
  ※ CD-RW メディアを使用している場合は、 削除によって空き容量が増えますが、 CD-R メディアの場合は増えません （削除情報が書き込まれます）。

⚠注意 100MB を超える大容量のファイルを書き込むときは WinCDR を使用してください。

● ライティングソフトウェアの比較

○ : 対応　－ : 非対応

	WinCDR	WinCDR Lite	PacketMan
CD-ROM　Mode1（CD-ROMの標準ISO9660ファイルフォーマット）	○	○	－
音楽CD（CD-DAフォーマット）	○	○	－
Mixed Mode CD（データ→CD-DAの混在フォーマット）	○	○(*1)	－
CD-ROM XA（ビデオ、テキスト、音楽の混在フォーマット）	○	○(*1)	－
CD Extra（CD-DA→データの混在フォーマット）	○	○(*1)	－
マルチセッションサポート（追記記録方式）	○	○	－
パケットライト（追記記録方式）	－	－	○
ディスクアットワンス	○	○(*2)	－
トラックアットワンス（追記記録方式）	○	○(*3)	－
セッションアットワンス	○	－	－
バーチャルイメージからのオンザフライ書き込み ・中間ファイルを作成せず、CDイメージをリアルタイムで書き込む	○	○	－
ハードディスク上でのISOイメージ作成 ・CDイメージをハードディスクに作成してからCDへ書き込むので、CDへ書き込む容量と同じ容量のハードディスクが必要	○	○	－
CDを作成する前の書き込み前のテスト	○	○	－
ロングファイル名サポート	○	○	○
Joliet（DOS名と64文字までのファイル名）	○	○	－
ISO9660レベル1標準（8.3）	○	－	－

*1　CD バックアップ機能にて書き込み可能。

*2　「CDをバックアップする」、「音楽 CDを作成する」 選択時のみ。

*3　「データ CDを作成する」 選択時のみ。

4 書き込みと読み出し

書き込み方式

本製品付属のライティングソフトウェアは、それぞれ次の書き込み方式に対応しています。

書き込み方式	対応するソフトウェア
ディスクアットワンス	WinCDR
トラックアットワンス	WinCDR
セッションアットワンス	WinCDR
パケットライト	PacketMan

メディアの使用目的に応じてライティングソフトウェアと書き込み方式を選択してください。【P16「ライティングソフトウェアの特徴」】

● ディスクアットワンス方式

本製品付属のライティングソフトウェア「WinCDR」は、この書き込み方式に対応しています。

・リードインからリードアウトまでを１回で書き込む。
・１枚のCD-RWメディア、もしくはCD-Rメディアに対して１回だけ書き込みができる（容量が残っていても追記できない）。
・CD-ROMの標準フォーマット「ISO9660」と互換性があるため、一般的なCD-ROMドライブで読み出せる。
・CD-ROMをプレスする際のマスターディスクとして使用できる。

メモ 書き込み時に、WinCDRで「Disc at once/Session at once」を選択すれば、ディスクアットワンス方式で書き込めます。

●トラックアットワンス方式

本製品付属のライティングソフトウェア「WinCDR」は、この書き込み方式に対応しています。

・ディスク容量に空きがある限り、何度でも追記が可能。
・CD-ROMの標準フォーマット「ISO9660」と互換性があるため、一般的なCD-ROMドライブで読み出せる。

⚠注意 ・2トラック以降にデータを含むCDは、トラックアットワンス方式でのバックアップはできません。ディスクアットワンス方式でバックアップしてください。

・１回書き込むごとにリードアウトとリードインが書き込まれるため、約13～23MBが余分に消費されます。また、WinCDRで「追記禁止」に設定して書き込みをすると、以降はそのCD-R/RWメディアには追記できなくなります。

メモ 書き込み時にWinCDRで「Track at once」を選択すれば、トラックアットワンス方式で書き込めます。

● セッションアットワンス方式

本製品付属のライティングソフトウェア「WinCDR」は、この書き込み方式に対応しています。

・CD-ROMをプレスする際のマスターディスクとして使用できる。
・CD-ROMの標準フォーマット「ISO9660」と互換性があるため、一般的なCD-ROMドライブで読み出せる。

メモ 音楽データとファイルデータをCD Extra形式で書き込む際に、WinCDRで「Disc at once/Session at once」を選択すると、自動的にセッションアットワンス方式で書き込まれます。

● パケットライト方式

本製品付属のライティングソフトウェア「PacketMan」は、この書き込み方式に対応しています。

・パケット単位で書き込むため、事前に書き込むファイルを指定する必要がなく、ハードディスクなどのようにファイル単位で書き込み可能。
・パケットライトに対応していないCD-ROMドライブでは読み出せない。

書き込み動作確認メディア

弊社で書き込み動作を確認したCD-R/RWメディアは次のとおりです。詳しくはカタログを参照してください。

・CD-RWメディア .... RICOH、三菱化学、日立マクセル
・CD-RWメディア(High Speed対応) .... RICOH、三菱化学
・CD-Rメディア .... 太陽誘電、RICOH、三井化学、FUJIFILM、SONY、日立マクセル

メモ メディアのパッケージに記載してある最大書き込み速度が上記の表と異なるときは、パッケージの記載に従ってください。

制限事項

＜CD-RWについて＞

● CD-ROMに比べて反射率が低いため、CD-RWに対応したドライブでないと読み出せません。
CD-RWに対応していないCD-ROMドライブや音楽CD用プレーヤーでは、データを読み出せません。
CD-RW対応の弊社製ドライブ（2002年1月現在）は次のとおりです。
CRWU2、CRWU、CRWiU、CRWiF、CRWSU、CRWS、CRWI、CRW、CDRW、CDRシリーズ
DVRAMシリーズ、DVD-RAM5.2GT、RAM5.2G、RAMT5.2G、RAM5.2G/A
DVROM-16FB、DVD-ROM16FB、ROM12FB、ROM6FB、ROM5FB
CDS-S40、S35SL、S24SL、S24
CDI-48FB、40FB、32FB、24FB
CDN-D24VA、D24EX、D12EX

※ 使用しているCD-ROMドライブがCD-RWに対応しているかどうかは、パソコン本体のメーカまたはCD-ROMドライブのメーカにお問い合わせください。

● CD-RWでは、データの書き換えが複数回可能です。書き換え可能回数はCD-RWメディアによって異なります。古い使用済みのメディアで書き込みができなくなったときは、新しいCD-RWメディアをお使いください。

● WinCDRで書き込んだデータを消去したいときは、1枚のCD-RWメディア全体を初期化します。セッション単位、ファイル単位、フォルダ単位では消去できません。初期化はライティングソフトウェアで行います。

● CD-RWメディアで4倍速を超える速度で書き込みをする場合は、High Speedに対応したCD-RWメディアを使用してください。High Speedに対応したCD-RWメディアには、次のロゴが表示されています。

※ このロゴは、フィリップス社が著作権を有しています。

読み出し

本製品は、CD-ROMドライブと同じようにCD-ROMの読み出しや音楽CDの再生ができます。
次のフォーマット形式を読み出せます。

- 音楽CD（CD-DA）
- CD-ROM（Mode1）
- CD-ROM XA Mode2（Form1、Form2）
- Video CD（*2）
- CD TEXT（*1）
- CD Extra
- Mixed Mode CD

*1　再生用ソフトウェアがCD TEXTに対応している必要があります。
*2　読み出しには、再生用ソフトウェアが別途必要です。

⚠注意
- PacketManで書き込んだメディアを他のパソコンで読み出す場合、読み出すパソコンにもPacketManのドライバがインストールされている必要があります。インストールされていない場合は、付属のCD-ROMに収録されているPacketManリーダーをインストールしてください。
- CDの再生方法についてはお使いの再生ソフトウェアのヘルプを参照してください。
- 再生ソフトウェアによっては、本製品のドライブ名が内蔵のCD・DVDドライブよりも前に割り当てられていると再生できないことがあります。そのようなときはデバイスマネージャからドライブのプロパティを開き、ドライブ名を変更してください。

（例）○：Eドライブ(内蔵CD・DVDドライブ)/Fドライブ(本製品)
　　　×：Eドライブ(本製品)/Fドライブ(内蔵CD・DVDドライブ)

パソコン本体のスピーカやパソコンに接続したスピーカで音楽を聞くには

Windows Media Player 7以降（*）など、デジタル再生に対応したプレーヤーを使用すれば、パソコン本体のスピーカやパソコンに接続したスピーカで音楽を聞くことができます。

* Microsoft社のソフトウェアです。WindowsMeにはWindows Media Player 7が標準で付属しています。また、Microsoft社のホームページから無償ダウンロードできます。

Windows Media Playerで再生するには、次のようにデジタル再生の設定を行ってください。

① Windows Media Player 7を起動します。
② メニューから［ツール(T)］－［オプション(O)］を選択します。
③ ［CDオーディオ］タブをクリックします。
④ ［再生の設定］項目中の［デジタル再生(K)］のチェックボックスをクリックし、チェックマーク☑を付けます。
⑤ ［OK］をクリックします。

※Windows Media Playerの操作方法については、ヘルプを参照してください。
※パソコンによっては、デジタル再生に対応していないことがあります。その場合は、パソコンに標準で搭載されているCD-ROMドライブなどで再生してください。

5 付録

困ったときは

本製品を使用してトラブルが発生したときの原因と対処方法を説明します。

一般的なトラブル

本製品が認識されない

本製品が正しく接続されていない	USBケーブル、電源ケーブルが正しく接続されているか確認してください。【別紙「はじめにお読みください」】
ドライバが正しくインストールされていない	簡単セットアップでドライバをインストールし直してください。【別紙「はじめにお読みください」】

パソコンが起動しない

パソコンの環境が壊れた	パソコンに付属の起動ディスクとCD-ROMを使用して、OSを再セットアップしてください。WinCDRのドライブバックアップ機能であらかじめバックアップCDを作成しておけば、被害を最小限にできます（OS再セットアップ時にはパソコン標準のCD-ROMドライブなどを使用してください）。

PacketManをインストールしたら内蔵CD-ROMドライブが使えなくなった

次のパソコンでは、PacketManのドライバが競合し、内蔵CD-ROMドライブが使用できないことがあります。

・ パソコンを起動しなくてもCD-ROMドライブでCDの再生などができる機種

この場合、内蔵CD-ROMドライブとPacketManを同時に使うことはできません。内蔵CD-ROMドライブを使うときは、タスクバーのPacketManのアイコンを右クリックし、[PacketManを無効にする]を選択してください。

特定のソフトウェアで本製品が使用できない

パソコンに標準搭載されているドライブ専用に作られたソフトウェア（※）上で、本製品を使用できないことがあります。その場合はパソコンに標準搭載されているドライブを使用するか、他のソフトウェアを使用してください。

※ ソフトウェアの仕様はソフトウェアメーカ（プリインストールソフトではパソコンメーカの場合があります）にご確認ください。

本製品でOSを再セットアップできない

本製品は、OSの再セットアップには使用できません。再セットアップを行うときは、パソコン標準のCD-ROMドライブなどを使用してください。

UHB-S4（弊社製USBハブ）を使用すると本製品が認識できない

USBコントローラに「Intel 82801BA/BAM USB Universal Host Controller または Intel 82801BA/BAM UHCI」を使用しているパソコン（※）では、本製品をUHB-S4に接続しないでください。本製品が認識されない、または正常に動作しないことがあります。このようなときは、本製品をパソコン本体のUSBコネクタに直接取り付けてください。

※USBコントローラの確認方法

WindowsXP	［スタート］をクリック→［マイコンピュータ］を右クリック→［管理(G)］をクリック →［デバイス マネージャ］をクリック →［USB(Universal Serial Bus)コントローラ］をダブルクリック →表示された文字列がUSBコントローラです。
WindowsMe/98SE/98	［マイコンピュータ］アイコンを右クリック→［プロパティ(R)］をクリック →［デバイス マネージャ］タブをクリック →［ユニバーサル シリアル バス コントローラ］をダブルクリック →表示された文字列がUSBコントローラです。
Windows2000	［マイコンピュータ］アイコンを右クリック→［管理(G)］をクリック →［デバイス マネージャ］をクリック →［USB(Universal Serial Bus)コントローラ］をダブルクリック →表示された文字列がUSBコントローラです。

読み出し時のトラブル

2回以上書き込むと前のセッションが読み出せない／読み出し時にエラーが発生する

書き込み時に最後のセッションを読み込まないように設定している	ライティングソフトウェアで書き込む際に、最後のセッションを読み込まないように設定していると、新しく書き込んだセッションだけが読み出せるようになります。最後に書き込んだセッションも読み出したいときは、最後のセッションを参照するように設定して書き込んでください。
CDが汚れている、または破損している	CDの記録面に傷や汚れが付いていると、正しく読み出せません。ほこりなどが付着しているときは市販のダストクリーナーなどで除去してください。
CDが裏返しになっている	CDを取り出し、CDのレーベル面を上に向けてトレーに載せてください。

CD-RWメディアが読み出せない

CD-ROMドライブがCD-RWメディアに対応していない	CD-RWメディアはCD-ROMに比べ反射率が低いため、CD-RWに対応していないCD-ROMドライブや音楽CD用プレーヤーでは読み出せません。CD-RWメディアに対応したドライブで読み出してください。【P19「制限事項」】

WindowsNT3.51やWindows3.1/DOSでファイル名が化ける

ロングファイル名を使用したデータを書き込んだ	WindowsNT3.51やWindows3.1/DOSはロングファイル名に対応していないため、RomeoやJolietで書き込まれたデータはファイル名が化けることがあります。WindowsNT3.51やWindows3.1/DOSでCDを読み出すときは、DOS名（8＋3形式）で書き込んでください。

作成したVideo CDが再生できない

弊社製MEG-VC1でキャプチャしたデータでVideo CDを作成した	弊社製MPEGキャプチャボードMEG-VC1に付属のソフトウェア「MPEGキャプチャ Ver2.1」以降でキャプチャしたMPEGファイルを使用してください。最新のソフトウェアは、弊社ホームページ【裏表紙参照】からダウンロードできます。

読み出し時に異音がする

CDにシールが貼られている	CDにシールなどを貼っていると、CDの重心が偏り、回転時に振動が発生することがあります。絶対にシールなどを貼らないでください。

書き込み時のトラブル

「データ転送が間に合いませんでした」というエラーメッセージが表示される（バッファアンダーランエラーが発生する）

バッファアンダーランエラー防止機能が無効になっている	• WinCDRの［設定］メニューで［書き込み設定］を選択します。この画面で［転送エラー防止機能を使用］チェックボックスをチェックしてください。【「WinCDRユーザーガイド(*)」参照】 * WinCDRインストール時にスタートメニューに登録されます。

CD-R/RWメディアにデータを書き込めない

ライティングソフトウェアを使用していない	本製品付属のライティングソフトウェアを使用してください。
CD-ROM、音楽CD（CD-DA）がセットされている	CD-R/RWメディアにだけデータを書き込めます。CD-ROMや音楽CD（CD-DA）などには書き込めません。
本製品の電源が入っていない	電源ケーブルがコンセントに正しく接続されているか確認してください。
USBケーブルが正しく接続されていない	本製品を含むUSB機器にUSBケーブルを正しく接続してください。

CD-R/RWメディアに追記できない

ライティングソフトウェアが違っている	ソフトウェアの仕様により、前回書き込みをしたライティングソフトウェアを使用しないと、追記できません。前回使用したライティングソフトウェアで書き込んでください。
メディアの容量が足りない	新しいメディアに書き込んでください。
他社製のCD-R/RWドライブで書き込んだメディアを使用している	他社製のCD-R/RWドライブで書き込んだメディアには追記できません。本製品で書き込んだメディアを使用してください。
トラックアットワンス書き込み時に「追記禁止」を選択している	ライティングソフトウェアで「追記禁止」に設定して書き込むと、書き込んだセッションが閉じられ、それ以降は追記できなくなります。別のメディアにデータを書き込んでください。

書き込みができない

メディアが対応していない	お使いのCD-R/RWメディアが、指定した書き込み速度に対応していることをご確認ください。CD-R/RWメディアによって最大書き込み速度は異なりますのでご注意ください。
メディアが傷ついたり汚れが付着している	メディアが傷ついたり、ほこりや汚れが付着している可能性があります。他のメディアでもう一度書き込んでみてください。
ライティングソフトウェアが本製品に対応していない	本製品に付属しているライティングソフトウェアを使用してください。付属品以外のライティングソフトウェアを使用するときは、ソフトウェアのメーカに対応しているかどうかお問い合わせください。
USB1.1インターフェースに接続している	USB1.1インターフェースに本製品を接続した場合、8倍速を超える速度では書き込みできません。書き込み速度を8倍速以下に設定してください。
WindowsXPのCD-R/RW書き込み機能を使用した	USB1.1インターフェースに本製品を接続した場合、WindowsXPのCD-R/RW書き込み機能で、4倍速を超える速度の書き込みはできません。書き込み速度を4倍速以下に設定してください。

パケットライト方式で書き込んだCD-R/RWメディアを読み出せない

CD-ROMドライブがパケットライト方式に対応していない	CD-ROMドライブによっては、パケットライト方式に対応していない物があります。
音楽CDに傷がある	音楽CDの傷が原因で音飛びが発生することがあります。
読み出しを行うパソコンにPacketManのドライバがインストールされていない	読み出すパソコンにPacketManリーダーをインストールする必要があります。WinCDRのCD-ROMをCD-ROMドライブにセットし、インストール画面が表示されたら、[PacketMan Reader]をクリックします。

音楽CDをキャプチャしたデータにノイズや音飛びが発生する

音楽CDを再生したCD-ROMドライブが対応していない	CD-ROMドライブによっては、正常に音楽CDをキャプチャできないものがあります。その場合は、本製品で音楽CDを再生してキャプチャしてください。
読み込み速度が適切でない	音楽CDによっては、汚れや小さな傷などによって、高速での読み込み時にノイズが発生することがあります。その場合は読み込み速度を8倍速以下に設定してください。設定方法は「WinCDRユーザーガイド(*1)」を参照してください。 *1 WinCDRインストール時にスタートメニューに登録されます。

書き込み時に「書き込み後コンペア」の項目を選択できない

音楽CDを書き込んでいる	音楽CDの書き込み時は、「書き込み後コンペア」の項目はグレー表示され、選択できません。

オンザフライ方式でCDのバックアップができない

CD-ROMドライブがオンザフライ方式に対応していない

CD-ROMドライブによっては、オンザフライ方式でCDのバックアップができないことがあります。その場合は、本製品にCDをセットしてバックアップを行ってください。

本製品を読み出しドライブにした場合に、他のCD-R/RWドライブでオンザフライ方式でのCDのバックアップができない

CD-R/RWドライブによっては、オンザフライ方式でCDをバックアップできないことがあります。その場合は、本製品だけを使用してCDをバックアップしてください。

PacketManで書き込みするとシステムが停止する

Windows98(Second Editionを除く)でユニバーサルシリアルバスコントローラに[NEC PCI to USB Host Controller]をお使いの場合、PacketManで書き込みした際にシステムが停止することがあります。この場合は、マイクロソフト社のホームページ(http://windowsupdate.microsoft.com/)からWindows98 System updateをダウンロードし、パソコンにインストールしてください。

ユニバーサルシリアルバスコントローラの確認手順は次のとおりです。

①[マイコンピュータ]アイコンを右クリック→② [プロパティ(R)]をクリック→③ [デバイスマネージャ]タブをクリック→④ [ユニバーサルシリアルバスコントローラ]を確認

5

付録

仕様

※ 最新の製品情報や対応機種については、カタログまたはインターネットホームページ(http://www.melcoinc.co.jp/)を参照してください。

項目		仕様
インターフェース		USB
準拠規格		USB Specification Rev2.0 (*1)
コネクタ		USBコネクタ シリーズB
バッファアンダーランエラー防止機能		あり
データバッファサイズ		2MB
転送速度	CD-R 書き込み時	最大4800KB/sec(32倍速)(*2)
	CD-RW 書き込み時	最大1500KB/sec(10倍速)(*2、*3)
	読み出し時	最大6000KB/sec(40倍速)(*2)
サイズ		165(W)×55(H)×303(D)mm (突起物を除く)
重量		1.8kg以下
消費電力		平均13W　最大22W
動作環境	温度	5～35℃
	湿度	20～80% (結露無きこと)
対応機種		USBインターフェースを標準搭載する次の機種 ・DOS/V機 (OADG仕様) (*4) ・NEC製 PC98-NXシリーズ
対応OS		WindowsXP、WindowsMe(Millennium Edition)、Windows2000 、Windows98SE(Second Edition)、Windows98

*1 USB2.0で規定されているHSモード(最大転送速度:480Mbps理論値)で本製品を使用するには、USB2.0インターフェース(またはUSB2.0に対応したパソコン本体)が必要です。

*2 お使いのパソコンのUSBの転送速度に依存します。

*3 CD-RWメディアに4倍速を越える速度で書き込みをするためには、High Speed対応のCD-RWメディアが必要です。

*4 USBインターフェースを搭載していない機種をお使いの場合は、弊社製USBインターフェースボードを別途お買い求めいただき、パソコンに取り付けてください。

■保証書について

本製品には、保証書が添付されております。この保証書は、本製品の修理についての条件を定めた約款が記載されております。お客様が無償修理を要求する場合に必要となりますので、保証期間、製品名および製品シリアルNo.が記載されていることをご確認のうえ、大切に保管してください。

■ ユーザー登録について

ユーザー登録はがきに必要事項を記入して郵送して頂ければ、弊社製品のユーザーとして登録いたします。

※ 本製品に対するサポートやバージョンアップなどのサービスは、ユーザー登録されている方でなければ受けられません。
※ ユーザー登録後に製品を譲渡した場合、ユーザー登録は変更できません。

■ 修理について

製品をお送りいただく前に、マニュアルを参照して設定や接続が正しいかを再度ご確認ください。正しく接続や設定をしても改善されない場合は、修理票と保証書の原本に必要事項をご記入の上、製品と一緒にお送りください。修理票は、弊社ホームページ(本書裏表紙参照)にてダウンロード可能です。修理票の添付が困難な場合は、以下の事項をお調べになった資料と保証書の原本を添付して製品をお送りください。

① 返送先 [氏名/住所/電話番号(内線)/FAX番号]
② 平日昼間の連絡先
　[氏名/住所/電話番号(内線)/FAX番号]
③ 修理対象のメルコ製品名
④ 弊社製品ハードウェア シリアルナンバー
⑤ 弊社製品ソフトウェア シリアルナンバー
⑥ 具体的な症状/エラーメッセージ
⑦ 発生状況 [始めから/ある日突然/環境を変えたら]
⑧ 発生頻度 [必ず/頻繁/時々/時間が経つと、他]
⑨ コンピュータ [本体メーカ名/型番/シリアルナンバー]
⑩ ハードディスク [メーカ名/型番/シリアルナンバー]
⑪ ディスプレイ [メーカ名/型番/シリアルナンバー]
⑫ その他周辺機器 [メーカ名/型番/シリアルナンバー]
⑬ OS(オペレーティング・システム)
　[ソフト名/メーカ名/バージョン]
⑭ 製品以外の添付品 [付属ソフトなど]

製品送付先	〒457-8520 名古屋市南区柴田本通4-15 株式会社メルコ 修理センター宛
電話番号	052-619-1289

※ ご依頼いただいた修理品以外に関するお問い合わせは承っておりません。製品に関するお問い合わせはインフォメーションセンター(裏表紙に記載)へお願いします。
※ 宅配便など、送付の控えが残る方法でお送りください。郵送は固くお断り致します。
※ 送料は送り主様のご負担とさせていただきます。なお、輸送中の事故に関しては、弊社は責任を負いかねますので、輸送会社に別途保証をしていただくなどの措置を取ってください。
※ 修理にお送りいただく際に、弊社への事前連絡は不要です。
※ ハードディスクなどの記憶装置をお送りいただいた場合、その記憶装置はフォーマット致します。また、記憶装置を修理する場合は、データが記憶されているディスク部分を交換することがございます。お送りいただく際、必要なデータは必ず事前にバックアップを作成しておいてください。
※ 修理期間は、製品の到着後７日程度（弊社営業日数）を予定しております。

■ WinCDR、PacketManのサポートについて

WinCDRクイックスタートガイドにとじ込まれているお客様登録カード(株式会社アプリックス)は、必要事項をご記入の上、必ず郵送してください。また、WinCDR、PacketManの操作方法や製品情報は、「株式会社アプリックス ユーザーサポート」までお問い合わせください。【「WinCDRクイックスタートガイド」参照】

※ 株式会社メルコでは、WinCDR、PacketManに関するお問い合わせは受け付けておりません。あらかじめご了承ください。

CRW-32U2ユーザーズマニュアル

2002年1月25日 初版発行
発行　　株式会社メルコ

弊社製品の情報は次の方法で入手できます

インターネット

http://www.melcoinc.co.jp/

製品サポート

インフォメーションセンター

〒457-8520　名古屋市南区柴田本通4-15　株式会社メルコ　ハイテクセンター内

本製品のサポートは下記で承っております。

ストレージ製品専用ダイヤル

<東　京>　03-5326-3753

月～金　9:30～12:00/13:00～19:00　※祝日を除く
土/祝　9:30～12:00/13:00～17:00　※年末年始と日曜日を除く

<名古屋>　052-619-1188

月～金　9:30～17:00　※祝日を除く

※　事前にメモとペンを用意し、次の事項を確認しておいてください。
- コンピュータ名と使用OS
- 本製品の製品名とシリアルナンバー
- 現象（具体的なエラーメッセージなど）

※　受付時間や電話番号などは、変更されることがあります。最新の内容は弊社ホームページでご確認ください。